

しあわせ



No.212

令和6年
(2024)

7月18日

令和6年能登半島地震 被災地支援活動に参加しました!

6月16日(日)、福知山市災害ボランティアセンターでは、福知山市や福知山公立大学などの協力を得て、石川県七尾市中島地区にて災害ボランティア活動を行いました。社協職員含め市内在住の20名の皆さんと現地に出向きました。



現地では、被災地NGO協働センターにお世話になり、活動の調整をいただきました。被災された住宅内の壊れた家具などの運び出し、今後の復旧・復興の拠点となるキャンプ場の整備、仮設住宅内のサロン活動の支援など、多様な活動をお手伝いさせていただきました。



ご参加いただいた皆様、ありがとうございました!! 今後も福知山からできる支援を考え続けたいと思います。

防災セミナー開催!

『能登半島地震に学ぶ 福祉避難所の役割と課題』

令和6年能登半島地震や各地の災害での現状をお聞きし、災害時に高齢者や障害のある人で支援が必要な方が身を寄せる「福祉避難所」の役割と課題について学び合いませんか?

講師：社会福祉法人麗心会(石川県志賀町) 理事長 藤田 隆司氏
福知山公立大学 地域経営学部 准教授 大門 大朗氏

日時：令和6年8月3日(土) 13時30分～16時30分

場所：三段池公園総合体育館 第1会議室

対象：関心のある方どなたでも

申込締切：7月29日(月)

参加費無料 定員80名

お申し込みは
こちらから



避難生活サポーター養成講座 開催予定!!

今年度、福祉避難所の開設・運営支援をしていただける避難生活サポーターの募集と養成を計画しています。詳細は決まり次第ホームページ等でご案内いたします。

記事に関する事、その他お問い合わせは...

社会福祉法人 福知山市社会福祉協議会 〒620-0035 福知山市字内記10番地の18 (福知山市総合福祉会館内) Eメール: fuku-shakyo@coral.broba.cc			
地域福祉課、権利擁護センター TEL.0773-25-3211 FAX.0773-24-5282	介護支援課 TEL.0773-23-1333 FAX.0773-23-8555	夜久野支所 TEL.0773-38-1200 FAX.0773-38-1230	大江支所 TEL.0773-56-0224 FAX.0773-56-1654
三和支所 TEL.0773-58-3713 FAX.0773-58-3732	三和グループデイホーム TEL.0773-59-2025 FAX.0773-59-2026		

法用ふれあいいきいきサロン



野菜の植え付けやお世話をしながら、話にも花が咲き...共同農園がつながりの場に

北本町二区こだま会



福知山踊りに脳トレクイズ等...皆さんが好きな企画を持ち寄り、自由に交流

それぞれの集まり方で、育まれる地域の力。



ぽっぽこぶんこ(鴨野町)

放課後児童クラブ廃止の後、本や人と出会い、住民同士がつながる場として、再スタート!



奥榎原睦月(むつき)会

地域の大切な場“滝山のお不動さん”の祠をきれいにするため、思いを合わせて登山

福知山市には、住民の皆さんが主体となった「やってみたいこと」や「地域で大切にしたいこと」から生まれた多様な交流の場があります。「きっかけ」や「想い」は様々ですが、暮らしの中に気軽に参加できる場があり、皆さんで集い交流することで、互いに顔の見える関係が築かれ、安心して住み続けられる地域づくりにつながっています。各地域の取組みは、6・7ページに掲載しています。(社協フェイスブックでも、随時ご紹介しています。)

主な内容

- 2ページ..... 令和5年度 事業報告
- 3ページ..... 令和5年度 社協会費の使いみち
- 4・5ページ..... おしらせ (ふれあい福祉相談、社協役員の紹介、共同募金公募、ボランティア)、善意の寄付
- 6・7ページ..... 社協のとりのくみ、地域のとりのくみ
- 8ページ..... 被災地支援活動、防災セミナーのご案内



住み慣れた地域で安心して暮らしたいという願いを実現するため、地域の皆さんや各関係機関と協働してさまざまな福祉活動の推進に努めました。

※主だった項目のみ記載させていただきます。

地域福祉事業

小地域福祉活動の推進 (地区担当による地域支援)

- ふれあいいきいきサロンの活動支援 (登録：145サロン)
- 地区福祉推進協議会の活動支援 (登録：19地区)
- 社協ミニだより『ほのぼの』の発行 (年10回)
- 福祉ふれあい万博の開催
- 活動事例集『つながり』の発行 (年1回)

生活支援・介護予防サービス基盤整備事業

- 住民同士の支え合い、助け合い活動の一層の促進

福知山市ボランティアセンターの運営

- ボランティア情報の発信、活動支援
- 登録：56団体 (1,767名)、個人：10名

福知山市災害ボランティアセンターの運営

- 台風7号に伴う豪雨災害による被災地支援活動
支援活動件数 延64件、ボランティア人数 延498名
- 防災ミニスクール開催 (全5回)

フードバンク事業

- 生活にお困りの方への、緊急で一時的な食の支援や、子ども食堂等の福祉活動への支援
- 歳末たすけあい「食の応援プロジェクト」

ささえあいパートナー事業

- 地域のちょっとした困りごとを抱えている方を住民同士で支え合う有償の助け合い活動

安心生活見守りキーホルダー事業

- 高齢者等の外出先でのトラブル等に備えた連絡体制の運営

レクリエーション用品・車椅子等の貸出

福祉学習の推進

- 学校での福祉教育の実施
- 子どもを対象とした福祉体験講座
- 地域での福祉出前講座の実施

広報誌『しあわせ』の発行 (年4回)

共同募金事業運営 (事務局)

権利擁護事業

あんしん・みらい事業

- 不安を抱えておられる高齢の方等が住み慣れた地域で暮らし続けるための必要なサポート
- 「おいじたくカレッジ」(4回シリーズ)
- みらいノート(エンディングノート)頒布
- つなぐノート(親なき後の家族の情報伝達ノート)配布

福祉サービス利用援助事業

- 認知症や知的障害のある方等への福祉サービスの利用援助・金銭管理援助
利用者：80名 (令和6年3月31日現在)

法人後見事業・成年後見相談

- 本会による法人後見としての役割や成年後見制度に関する相談への随時対応

生活福祉資金の貸付・相談

- 低所得等で一時的に困窮されている世帯を対象とする必要な費用の一部の貸付と相談支援
- 新型コロナウイルス特例貸付利用者の償還支援、生活支援

ふれあい福祉センター相談事業

- 日常生活での困りごとや悩みごと等に相談員が対応 (毎月第1金曜日 13:00~16:00)

介護サービス事業等

住み慣れた自宅で安心して生活できるようサービスを提供しました。

介護保険事業

- 居宅介護支援事業 (ケアプラン作成等)
- 訪問介護事業
- 訪問入浴介護事業
- 認知症対応型通所介護事業(グループデイホーム)

障害福祉事業

- 居宅介護事業
- 重度訪問介護事業
- 行動援護事業 (本所)
- 同行援護事業 (本所・大江支所)
- 移動支援事業 (本所・夜久野支所)
- 在宅重度身体障害児・者 入浴サービス事業



令和5年度の会費

12,509千円の使いみち

皆様からの会費は、住民同士のささえあいによる地域福祉活動推進のために、大切に使用させていただきました。ご支援、ご協力いただき、誠にありがとうございました。



福祉出前講座(福祉学習の推進)
市内小学校でのポッチャ・車いす体験等



地域福祉活動推進の支援
上豊富地区福祉推進協議会 福祉研修

当事者団体の支援 23円

同じ生活課題を抱える方たちの団体への支援のために

安心生活見守り キーホルダー事業 25円

外出時等でも安心できる生活を届けるために



災害ボランティア センター運営 25円

平常時の備えと防災ネットワークづくりなどのために

福祉出前講座、 広報活動 39円

地域福祉の取組みを身近に感じていただくために

ボランティアセンター運営 55円

ボランティアの啓発や活動支援のために

成年後見事業 19円

本会で法人後見の役割を担っていくために

あんしん・みらい事業 19円

歳を重ねても住み慣れた地域で日常生活を続けるためのお手伝いとして

ささえあいパートナー事業 8円

地域住民同士で支え合う活動のために

地区福祉推進協議会等の地域 福祉活動推進の支援 150円

地域の実情に合った福祉活動推進の支援として

ふれあいいきいき サロンの支援 79円

身近に集えるサロン活動の支援として



フードバンク事業 58円

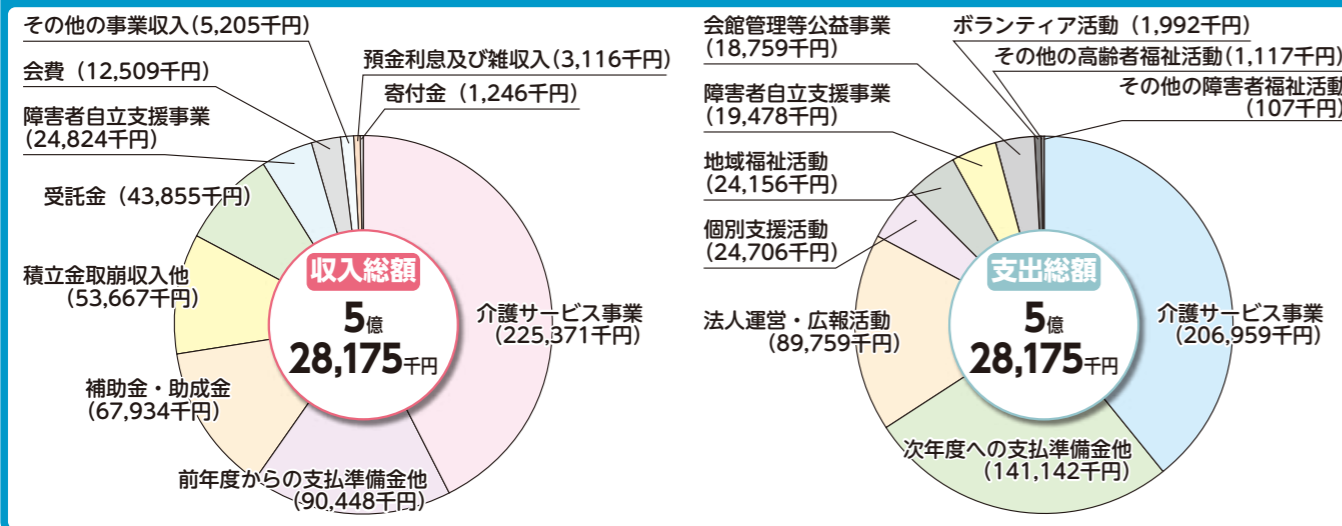
生活にお困りの方への食の支援や子ども食堂等の福祉活動への一助として

みなさまからお預かりした
会費500円の使いみち

令和5年度 事業決算

社会福祉事業・公益事業 会計

前年度比 56,335千円増 ※詳細は社協ホームページをご覧ください。



おいじたくカレッジの開催 (あんしん・みらい事業の例)



高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、また、元気に歳を重ねられるよう「公正証書の活用策」「食生活」「看取り」「笑いヨガ」をテーマに講座を開催

災害ボランティアセンターの 防災ネットワークづくり



防災ミニスクールの開催

福祉出前講座の開催



福笑会(口田野)での訪問入浴車見学・体験

ふれあい福祉相談

相談無料・秘密厳守

毎月第1金曜日(祝日の場合は第2金曜日)、
専門の相談員が相談をお受けします。

悩みごと 困りごと 聞いてほしいこと

何でも相談

R6.8月~
R7.3月の
実施予定

8月 2日(金)
9月 6日(金)
10月 4日(金) 13:00
11月 1日(金))
12月 6日(金) 16:00
1月10日(金)
2月 7日(金)
3月 7日(金)

場所：社協本所・

各支所(三和・夜久野・大江)

※上記の他に月~金(祝日・年末年始を除く)
9:00~17:00に来所・または電話相談
でもお受けしております。
また13:00~16:00は出張相談も受け付
けております。(予約制)

【お問い合わせ】権利擁護センター

TEL 0773-25-3211 FAX 0773-24-5282



皆様の地域福祉活動に
共同募金 助成金を
活用してみませんか

申請受付中!!

【助成対象事業の例】

- 地域の見守り活動 ● 居場所づくり活動
- 日常生活に不安のある方への支援活動
- 地域の様々な人が交流する福祉イベントなど

申請	歳末	一般
申請	締切 令和6年8月30日(金) ※必着	
	【申請時 提出書類】 申請団体登録書・実施申請書・収支予算書 ※社協の窓口または郵送にて提出	
審査	プレゼンテーション 審査会	令和6年10月~11月頃 予定
決定通知	助成の決定	令和6年12月頃 予定
助成金交付	[令和6年度 実施事業]として 令和6年12月頃 交付予定	[令和7年度 実施事業]として 令和7年6月頃 交付予定
報告	事業終了後、領収書と写真等を添付した報告書を提出	

申請の条件

- 事業実施団体の**人件費や管理運営費ではなく、事業に活用**するものであること
- 助成金の**使途が明確**であること
- 共同募金運動への協力と周知を行うことなど

共同募金
ページは
こちら

申請に関わる様式等は、社協の窓口で配布
しています。また、社協ホームページの共
同募金ページよりダウンロードできます。



【ご相談・お問い合わせ】

福知山市共同募金委員会(事務局:社協)
TEL 0773-25-3211 FAX 0773-24-5282

社協新役員をご紹介します

令和7年6月まで

会長	理事	船越成人
夜久豊基	大本夏代	高山あつ子
副会長	桐村博之	顧問
井土昇	樋口智子	松田規
和久敏一	森田雅子	評議員
岩吹泰志	牧孝年	山本康弘
常務理事	監事	桐村玲子
田中悟	谷垣均	芦田恵子

畠中俊郎	大林泰山	今川良成
西村悟	赤井正人	松本和徳
土田正博	荒木正典	柳井津佑健
桐村弘	中島松治	植田孝太郎
荒木千鶴	森下邦明	石坪博彦
衣川初瀬	瀬戸丸公子	嵯峨根正和
金田益実	芦田八郎	高橋香壽美
西村勝	中嶋彰宣	谷垣恵子
河谷寅夫	細見秀樹	前田孝之
大志万博	河野正一	山添祥代
井上豊	林圭子	吉見美晴

ボランティアセンター News

「福知山市ボランティア 情報2024」を発行

共同募金
助成事業

ボランティアセンターに登録していただ
いている全団体を紹介しています♪様々な
団体・個人が、地域・施設・学校等の事業
やイベント等への協
力をされています。

何かボランティア
がしたい方も、来て
ほしい方も、お気軽
にボランティアセン
ターへお問い合
わせください。



LINEで発信しています。
友だち追加はこちらから



【お問い合わせ】福知山市ボランティアセンター
(福知山市社協内)
TEL 0773-25-3211 FAX 0773-24-5282

福知山ボランティア連絡協議会 福知山市ボランティアセンター合同会議

6/22(土)

活動内容は違っても、同じ想いで活動してい
るボランティア同士で活動の想いを共有するこ
とができました。最後は皆さんで総合福祉会館
から福知山城まで力を合わせて
清掃活動を行いました。



ボランティア連絡協議
会とボランティアセン
ターは、ボランティア活
動を発展・強化してい
くための車の両輪的な存在
であり、互いに協力・協
働を図り更なる活動の推
進のために取り組んでい
ます。



善意の寄付 ありがとうございます

お名前・ご住所のみご紹介させていただきます
令和6年3月21日~6月20日(敬称略・受付順)

こちらの内容は、個人情報保護の為、
ホームページへの掲載は自粛させていただきます。



寄付金のお願い



社協では、福祉事業推進のために、多くの方から善意(現金や物品等)のご寄付を
いただいています。

寄付金は、安心生活見守りキーホルダーの配布やふれあいいいきサロン活動の支
援などの誰もが安心して暮らせる地域福祉の推進事業に活用させていただいています。
皆様のあたたかいご支援、ご協力をお願いします。

民生児童委員連盟 社会福祉部会研修会で「車いすとアイマスク体験」



5/28日(火)

三段池総合体育館にて、福知山市民生児童委員連盟社会福祉部会の皆さん計45名の参加による研修会が行われました。

社協は車いすとアイマスクの体験を担当し、段差の上り下りや移動等をペアになって体験していただきました。



福知山市聴覚言語障害センターからの聴覚障害についてのお話もありました。皆さん真剣に取り組む学ばれていました。



夜久野高原 ウォークラリー

共同募金 助成事業



6/16日

朝から強い日差しが照りつけ汗ばむ陽気の中、夜久野高原の約5km道のりを自然と親しみながら皆さんで元気に歩きました。

ウォーキングだけでなく、漢字間違い探しゲームや福知山署下夜久野駐在所による防犯講話、また、「段ボール空気砲」・「牛乳パックとんぼ」のレクリエーションも楽しんでいただき、子どもから大人まで多世代の交流ができました。



5/22(水) しあわせ会 (金谷)



5月の恒例行事「かしわ餅作り」が開催されました。世話役の方々が下準備をしてくださった後、皆さんで一つ一つ丸めて葉っぱに包まれました。できたて熱々の美味しい「かしわ餅」を食べながら、和やかな時間を過ごされました。

5/23(木) 佐賀健幸クラブ



4月から毎月第4木曜日の午後、いつまでも健康で幸せに暮らしていけるようにと、体操を中心としたつどいの場として、活動をスタートされています。福知山市の貯筋体操やこのクラブならではの体操など、みんなで楽しく身体を動かしておられます。

5/27(月) 新庄いきいきサロン



今回のサロンでは、新聞紙棒で紙コップや紙など身近なものをリレーするゲームを楽しまれました。勝っても負けてもみんなで笑いあい、笑顔あふれる時間を過ごされました。

5/28(火) 土師新町東 ふれあいきいきサロン



この日の催しは、「お好み焼きパーティー」♪みんなでテーブルを囲んで焼き上げます。料理の得意な方々が活躍。どんな名店よりも、やっぱり親しいみんなと食べる「お好み焼き」が一番ですね。お腹いっぱいになって笑顔があふれていました。

6/4(火) 広峯スマイルクラブ



クラフトバンドで「ミニかご」作り。おしゃべりに花を咲かせながらも、忙しく手を動かし素敵なかごの完成。「かわいい!」「かごに何を入れようかな?」と皆さんどのように飾ったり活用したりしようか、大満足の笑顔で話されていました。

6/12(水) 笠巻いきいきサロン



ボランティアの方々が手作りされた美味しい「にゅう麺」を皆さんで味わいにつこり笑顔。楽しいおしゃべり、懐かしい歌に続き、脳トレで大笑いされた後は、栄養士さんが持って来られたサンプル食品を手に取りながら、熱心に食事についての話を聞かれました。

4/23(火) あじさいの会 (畑)



夜久野町畑地区は南と北でそれぞれのサロン活動が行われていました。近年、北の活動が休止となる中、一緒に集まろうと今年度から畑地区全体のサロンとして「あじさいの会」が本格的にスタート。第1回目は、体操や社協事業紹介等を通して和気あいあいと交流を深められました。

5/11(土) 上松みどり会 ふれあいサロン



この日のサロンでは「ポッチャ」に取り組みられました。初めて体験される方も多くおられましたが、すぐにコツを掴まれチームで作戦を立てながら楽しくプレーされました。敵味方関係なく終始会場は笑い声に包まれ笑顔溢れるひとときでした。

5/22(水) 台頭ふれあいサークルと三和学園4年生との交流



今年度、台頭地域では、三和学園4年生と「お蚕さん」を囲んで交流をされました。「お蚕さん」とふれあい、昔を懐かしみながら当時の蚕中心の暮らし方や飼育の難しさなどを子どもたちにお話しされるなど、終始、和やかな雰囲気の中で交流を楽しまれていました。

6/13(木) すいすいクラブ (水坂)



社協から紹介させていただいた「おじゃみ投げ」や「段ボールフリスビー」を楽しく体験されました。また、皆さんそれぞれに書き出した願いごと「元気ですぞう」「旅行に行きたい」「孫とふれあいたい」等を「たなばたさま」のメロディーにのせ替え歌に♪願いも共有し合える時間となりました。

6/14(金) サロンかみろっく (上六人部)



昨年9月より、上六人部会館でサロン活動を再開されています。この日は、社協から昭和時代の家電や昔の福知山市内の風景等の画像をお持ちし、思い出話に花が咲きました。また『ダンボールク (ダンボール製のモルック)』も行いました。皆さん「楽しかったわー」と感想を話されていました。

6/20(木) 南山イケイケサロン



4月から男性を中心に活動を始められたサロンです。この日は自治会の方も一緒に認知症のことを勉強しようと認知症サポーター養成講座を受講されました。寸劇で認知症の方への対応例を学ばれ、理解を深められました。